

「あまみエフエム ディ！ウェイヴ」^{ほうそうげんこう} 放送原稿（3月22日（金）放送分）

FMラジオ ディ！ウェイヴをお聞きの皆様、おはようございます。鹿^か児^ご島^{しま}県^{けん}立^{りつ}奄^{あま}美^み図^と書^{しょ}館^{かん}です。

今朝は、図書館アラカルトと題しまして、「レファレンスサービス」ということについてお話しします。

レファレンスサービス……、聞き慣れない言葉ですね。日本語に適^{やくご}当^{たう}な訳語がなく、
「調査^{ちようさ}相^{そう}談^{だん}」^{ちようさそうだん}と言い換えています。「調べごとのお手伝い」と言ったほうが分かりやすい
でしょうか。

何か知りたいことがあって図書館に来たものの、たくさんの本を目の前にしてどうしたら
いいか分からないということは、よくあることだと思います。そんなときに、司書である
図書館の職員が解決のためのお手伝いをするのです。調べる時間を節約できる図書館特
有の便利なサービスなのですが、ご存じではない方も、まだまだ多いようです。

たとえば、こんなことがありました。

「すみき衣^い装^{しよう}七^{なな}ふくた」の意味を知りたいとおっしゃるのです。司書が、「何に出てく
る言葉か分かりますか」と尋ねたところ、^{たず}「子守歌です」ということでした。「どこかで
聞かれたのですか」とさらに^なたずねると、「亡くなった母が歌っていた。沖永良部の出身
だった」とおっしゃいました。

そこで、司書は、郷土コーナーの本棚や書庫の中から『奄^{あま}美^み島^{しま}唄^{うた}集^{しゅう}成^{せい}』や『鹿^か児^ご島^{しま}沖^{おき}縄^{なづな}のわらべ歌』など6冊の本を出してきました。「これらの本のどこかに出てくればいい
ですね。探してみてください」とお渡ししました。この時には、調べるのが大変だと思った
のでしょう、司書もお客様と一緒に、本の中の記述を探し始めたようです。さらに、
司書は、和泊町と知名町の図書館にも電話で問い合わせをしたようでした。

結局、この時には、『南日本わらべうた^{ふどき}風土記』と『南島歌謡大成^{なんとうかようたいせい} 奄美編』の中にそ
の語句が出てきて、^{かすり}「^{ななかさ}緋^ひの着物も七重ねもある」という意味であることが分かりました。
お客様は「記憶の中に残っていた歌の意味が分かってすっきりしました」と笑顔でお帰り
になりました。

他にも、「ミキについて書かれた本はありませんか」とか、「龍郷町に平家が来たときの
記録があるか知りたいんだけど」とか、「昔、黒糖が薬として使われたそうだが、その
ことを裏付ける資料が欲しい」など、いろいろな質問が寄せられています。

奄美に関するだけでなく、「自宅ショップを開く準備はどんなことがあるのかな」とか、「初めての子育てなんだけど心配で……」「介護をしているのだけれど親の本当の気持ちを知りたいわ」というような質問ももちろん大丈夫です。あなたにとって必要な1冊を探し出すお手伝いをいたします。

疑問を抱えている人、なにか心に引っかかっていることがある人は、県立奄美図書館のレファレンスサービスを利用してみませんか。2階カウンターにレファレンスサービスを担当する職員がいて、いつでも皆様のおいでをお待ちしております。

ただし、レファレンスサービスでは、学校の宿題とかクイズとかにはお答えできません。レファレンスサービスは、答えを教えるサービスではなく、みなさんが調べものをするときのお手伝いをするサービスです。あくまでも、問題を解決するのはみなさんご自身です。「いいから早く答えを教えろよ」と言われても大変困りますので、御理解下さいね。

問題が解決すると、お客様は晴れ晴れとした笑顔で帰って行かれます。その笑顔を見たくて、私たちは毎日仕事に^{はげ}励んでいるところです。

さて、3月も下旬になりました。異動のシーズンですね。高校を卒業して都会に出て行く人や、転勤になって引っ越しの準備をしていらっしゃる方も多いのではないかと思います。

何かとご多忙なこととは存じますが、もし、借りている図書館の本が、まだ手元にあった場合には、ぜひ、本の返却をお願いします。奄美小学校側の入り口にブックポストがあって24時間返却できますのでどうぞ御利用下さい。

本は、県民の貴重な共有の財産です。皆様の御協力を御願います。

鹿児島県内に引っ越しされる方は、鹿児島市城山町にある県立図書館で引き続きそのカードを利用することができます。住民票や新しい住所に書き換えた免許証、新しい住所に届いた郵便物など、新しい住所が分かるものを持って、鹿児島市の県立図書館で住所変更をして下さい。

県外へ転出される方、もしくは、県内への引っ越しだけど鹿児島市は遠いのもう県立図書館は使わないなあとと思われる方は、利用者カードを奄美図書館一階カウンターにお返し下さい。返却さえしてあれば、将来、鹿児島県内にお帰りの際、また、図書館の近くに引っ越された際には、利用者カードを発行してもらえますのでご安心下さい。

三寒四温の気候が続き、まだ、寒の戻りがありそうです。健康に気をつけて新しい生活の準備を進めていきましょう。県立奄美図書館でした。^{けんりつあまみとしよかん}